

か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子



すがわら



令和5年 6月
愛川町立菅原小学校
発行責任者 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

ともに、子どもたちの未来を

校長 前盛 朋樹

あいにくの雨で1日延期となってしまいましたが、6月4日、運動会日和の晴天の中、第42回運動会を開催することができました。PTA 役員の皆様をはじめ、スクラムパパや学校運営協議会の皆様、愛川東中学校のボランティアの中学生など、当日はもとより事前の準備や草刈りなど多くの場面で、たくさんの保護者、地域の方のご尽力・ご協力により無事開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

この3年間、コロナ禍により様々な制限の中での運動会開催でしたが、今年度は、より多くの方に参観いただくとともに、「応援合戦」等プログラムの見直しをし、子どもたちの活躍の場を広げることができました。リレーの選手等もそうですが、「活躍の場」があることで、使命感を持ち、当日に向かって休み時間に練習を重ねて仲間との団結や信頼を深め、達成感を味わうことができたのではないのでしょうか。何より、皆様からいただいた多くの拍手が、子どもたちに自信を与え、背中を押してくれたことと思います。心より感謝申し上げます。今後は、運動会への取り組みを通して得た経験や学び、育てた力を今後の生活につなげ、生かして行ってほしいと願っています。



また、先日は、引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました。2度の避難訓練をとおして、子どもたちには、「自分の命を自分で守る」ために、自ら「まわりの状況をよく見て、考える」ことの大切さを指導しています。

これは、学習やほかの生活場面でも大切な視点だと考えています。

子どもたちが、今まで以上に予測困難なこれからの未来を生き抜いていくためには、大人から与えられるのを待つのではなく、どうしたらよいかを自ら考え、失敗から学んでいく経験が大切です。

我々教職員もそうですが、大人はつい子どもたちが転ばぬよう、失敗しないよう先回りしてしまうことがあります。大人が与え過ぎていると、子どもたちはそれが「当たり前」となり、してもらえない時に「不満」を感じます。逆に、普段してもらえないことをしてもらえた時には、「感謝」の心を持つようになります。ですから、「普段」が大切で、この毎日の積み重ねが子どもたちの「当たり前」を作っていきます。小学校時代（学童期）は、その「当たり前」をつくる大切な時期です。

コロナ禍で、様々な経験をするのが難しかった3年間。子どもたちの成長にとって貴重な「今」、どんな「当たり前」が子どもたちにとって大切か、何をしていくことが子どもたちのよりよい「未来」につながるのか、学校でも教職員一同、考え続けていきたいと思いますが、子どもたちは、家庭や地域の中で育っています。これからも、子どもたちの「未来」を、ともに考え、ともに育んでいきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

運動会を終えて

体育主任 影山 直人

台風の影響で天候が心配でしたが、日曜日に無事開催することができました。昨年度よりも多くの方に見守られ、子どもたちがうれしそうに競技に臨む姿が印象的でした。ラジオ体操や応援合戦など、全校が一つとなって行動する様子も感慨深く感じました。表現では、低学年、中学年そして高学年と、各ユニットの良さが活かされていて目頭が熱くなる場面もありました。必死に練習してきたことが、本番で花開き子どもたちの自信や成長にも繋がっていたと思います。閉会式後、小学校生活最後の運動会を終えた6年生は、「最高の運動会でした！」という感想に拍手が起こり、今後の菅原小学校をより良いものにしていく雰囲気を感じられました。運動会を終え、一つ成長した菅原小学校の子どもたちに期待しています。



今後の予定

26日(月)	ポエム1・6年	
27日(火)	クラブ	
28日(水)	児童朝会、あすなる教室	
29日(木)	かわせみ広場	
30日(金)	集金袋配付	
7月		
3日(月)	学級費・教材費集金日、ポエム2・5年、委員会	
5日(水)	あすなる教室、給食費引き落とし、ポエム3・4年	
6日(木)	かわせみ広場	
10日(月)～13日(木)	個別懇談	
14日(金)	給食終了	
18日(火)	朝掃除、特別日課 12:00 下校	
19日(水)	児童朝会、特別日課 12:00 下校	
20日(木)	終業式、特別日課 12:00 下校	

地域の方との花壇の名称が決まりました！



飼育・栽培委員の子どもたちが、名前を考えてくれました！

百合もきれいに咲いています。近くで誇られた際はぜひ見てください！

